

24 昔の人の再利用

「stay home」中はどのようにお過ごしでしたか？
外食もできなくなり、take out の食事を利用するようになると、気がつけばゴミの山が、、、

この機会に家の片付けをされたからでしょうか、あるいは take out のためでしょうか、自宅前の
ゴミ収集場所には、いつもの倍近くの量が置かれていました。

さて、時代はさかのぼること約 5,000 年前。当時の日本は狩猟や採集を生活の基礎としていた縄文
時代でした。ナチュラルリストである彼らは、縄文土器を再利用して使っていたようです。

テーマ展示室「環境」の縄文のコーナーを見てみましょう。



補修孔のある縄文土器（佃遺跡／淡路市）

この縄文土器には、「補修孔（ほしゅうこう）」と呼ばれる孔が開けられています。
土器の割れ目やひび割れの両側に一対となる孔をあけ、紐を通して綴じ合わせて使っていた痕跡で
す。



補修孔の拡大 割れを挟んで一対の孔を開けている

時代は下って室町時代。

守護大名の山名氏の館近くにある豊岡市入佐川(いるさがわ)遺跡から天目茶碗が見つかりました。室町時代の茶席で使われる貴重品で、漆を接着剤にして修理された跡があります。(これは展示されていません。)



漆で接合された天目茶碗
(入佐川遺跡/豊岡市)

このように、出土品から昔の人たちはものを大切にしていたことがわかります。

そういえば私たちが子供の頃、買い物に行くと、お野菜は新聞紙にくるまれ、お豆腐は、持って行った容器に入れてもらいました。「ものがなかったから」と言えるのかもしれませんが、それなりに工夫して対応してきました。

「もったいない」の心もあったように思います。

ものを使い捨てにする文化が本当に心の豊かな文化といえるのか、縄文人からの問いかけに、今の私たちはどんな言い訳をするのでしょうか？

(学芸課 中村 弘)